

【資料1】

前回協議内容の整理及び今後のスケジュールについて

令和6年12月

第4回矢吹町学校規模適正化検討委員会の協議内容の振り返り	
【町立小学校の適正規模・適正配置に向けて意見集約を図る事項】	
①町立小学校の1学級あたりの適正な児童数及び1学年あたりの適正な学級数	
②町立小学校の適正な再配置の必要性	
③現段階で見えてきた課題	
幼稚園長	①21～25人が適正ではないか。 ②現段階で児童数の数に差がある。中畑三神と善郷の保護者の受け止めに差がある。段階的な統合が必要ではないか。 ③スクールバスは必要。家の近くから学校までの送迎が可能なか懸念。
	①21～25人が適正ではないか。友達作りや体力・学力づくり。 ②段階的に実施する必要がある。 ③スクールバス等の方法を検討していく必要がある。中畑三神では地域とのつながりを懸念する声がある。
幼稚園の保護者	①2年生以下は20名程度、3年生以上は30～35名程度が望ましい。学級数は3～5学級あってもいい。 ②幼稚園が統合あるいは卒園したタイミングが望ましい。 ③駐車場・送迎ルートの確保が必要。
	①30人程度、3～4学級が望ましい。 ②幼稚園がスムーズに稼働した段階で小学校に入れるようにしてほしい。一度に1校に統合することが望ましい。 ③統合の具体的なスケジュールを知りたい。
	①25～30人。イベントが盛り上がる。 ②幼稚園の統合に合わせて小学校の統合も必要。 ③統合の具体的なスケジュールを知りたい。
	①低学年21～25人、中学年以上は30人が望ましい。2クラス以上はほしい。 ②再配置の必要性あり。4校を統合して1校にしてほしい。 ③統合の具体的なスケジュールを知りたい。
	①20人程度、2～4学級が望ましい。 ②一度に1校に統合することが現実的。大規模校にならないように留意する必要がある。教員の負担も大きい。 ③まだ統合を実施するには早いように思われる。
小学校長	①20人前後、複数学級が望ましい。 ②いずれは統合が必要だろうが、まだ必要性を感じない。 ③大規模校になると学校経営が難しくなるため、規模感を見つつ統合時期を決める必要がある。また、スクールバスは必須。
	①18～24人、2～3学級程度が望ましい。 ②再配置の必要性があるものの、大規模校となることは避けたい。また、保護者としては統合の必要性・緊急性を感じられていない。 ③先の期間も見据えつつ議論した方がよいと考える。
	①他校の校長と同様、20人前後、複数学級が望ましい。 ②善郷小を見ると統合の必要性が低いようにも見えてしまう。 ③R12以降の人数を見つつ時期を検討したい。
	①21～25人程度、3～5学級が望ましい。 ②再配置については、いずれはやむを得ないと考える。今後、時期の検討を詳細化していきたい。なお、統合しない場合、学校の老朽化の問題もある。 ③スクールバスは必要である。

小学校保護者	①人数規模は先生や保護者に委ねたい。学級数は2学級以上が望ましい。 ②統合は必要である。しかし、前提として財政の問題がある。 ③幼稚園統合後、速やかに小学校も統合する必要がある。
	①20人程度、2学級以上が望ましい。ただし、複式学級が悪いとは思えない。先生の負担が増えない方法も検討できるのではないか。 ②善郷小との差が大きすぎるため、統合は段階的に進める必要がある。 ③スクールバスの配備と安全性確保が必要である。
中学校長・中学校保護者・保育園長	①20～25人程度が望ましい。また、予算との兼ね合いも考える必要がある。 ②大規模校化を避けるために、段階的に統合することも考える必要があるのではないか。 ③現状の校舎・施設を活かす方法が課題となる。
	①25人程度、2学級以上が望ましい。 ②統合の必要性はあるものの、先生の負担が大きい大規模校化は避ける必要がある。 ③先を見据えた時期の検討が必要である。
	①先生の負担が大きいものの、複式学級も悪くはない。教員が足りれば複式学級も解消できる。20人程度、2学級が望ましい。3学級以上は多い。 ②町立幼稚園以外の教育・保育施設は町内に複数ある。幼稚園が1校になったからといって小学校を1校にする必要はないのではないか。 ③スクールバスの実現性も確認が必要である。
区長会	①先生に委ねたい。 ②地域住民に納得してもらう必要があるものの、今すぐやるべきかは不明。各学校の老朽化が進み、各学校を建て替えるくらいであれば統合すればいいのではないか。統合しなくて済む方法も考えてよいかも 싶れないと感じる。 ③統合にあたっては、三神や中畑といった地域に配慮する必要がある。
	複式学級が悪くないという意見を聞いて、複式学級も選択肢に考え得ると思った。意見がまとまできていない状況。大規模校はメリットがなかった印象。
	①20人や21～25人程度が望ましい。複式学級は社会性が養われないと考えられるため、避けるべき。 ②築年が古いため、防犯面では現在の学校は不安。統合して安全性を上げるべきである。 ③統合するのであれば、場所の検討も必要である。
	①わからない。 ②統合が必要である。 ③児童数が右肩下がりとなるのが前提となっているが、そもそも人口を増やす取組が必要なのではないか。
議員・副会長	①21～25人、2～3学級程度。現在の善郷小が適正規模と考える。 ②矢吹小と善郷小は現段階では統合の必要性に乏しいと考える。中畑小と三神小は今後の状況を踏まえ、慎重に審議していきたい。
	①2～3学級が望ましい。 ②幼稚園が1校に統合されるからといって小学校も1校に統合する必要はないのではないか。 ③コストも重要。統合することで、教員の体制や学びを充実させることができる、と説明していく必要がある。学校の規模の調節も重要。また、「切磋琢磨」という競い合わせるような文言が必要かは分からない。
	委員の意見を踏まえると、概ね以下のように整理できる。今回では意見集約しきれない部分があったため、次回も検討したい。 ①1学級あたりの21～25人、学級数は2学級が望ましく、3学級も考えられる。 ②統合はやむを得ない。ただし、令和13年度頃では大規模校になってしまうため、段階的な統合も検討の余地がある。 ③統合に向けたスケジュール、コスト・予算、地域とのつながり・理解醸成が必要。

前回の検討委員会でいただいた意見を踏まえ、下記の内容について協議を進めます

前回の会議でいただいたご意見と今回の会議で協議いただく内容

前回の会議でいただいたご意見（会長要約）

1

町立小学校の1学級あたりの児童数及び1学年あたりの学級数

- 1学級あたりの児童数は「**21～25人**」が望ましい。
- 1学年あたりの学級数は「**2学級**」が望ましく、「**3学級**」も考えられる。

2

町立小学校の再配置の必要性

- **再配置を検討していく必要がある。**
- 既存の小学校で複式学級を編制しなければならなくなる前、令和13年度頃の再配置を想定した場合、4校を1校に統合すると大規模校となり教員の負担が大きいことから、段階的な統合も検討の余地があると考えられる。

3

再配置に関連して特に考慮が必要になると思われる事項
※基本的に来年度に具体的な検討をする内容

- **再配置に向けたスケジュール**を具体化する必要がある。
- 再配置に係る**コスト・予算**も検討する必要がある。
- **地域とのつながり・理解醸成**が必要である。

今回協議を行う内容

なし。

※前回の内容を踏まえ、答申案にまとめていきます。

「統合したときに、複式学級にも、大規模校にもならない場合」など

児童数の減少見込み、学校の老朽化の状況、小学校の今後の改修等に係るコストの見込み、町の財政の状況・方針等（別添資料参照）を踏まえ、「**統合を進めて行くための条件**」について協議する。

※「いつ・どのように再配置を進めるか」といった**具体的な検討は来年度以降も引き続き実施**します。

なし。

※来年度に具体的な検討を行います。

矢吹町学校規模適正化検討委員会 ～活動スケジュール～

町立小学校の適正規模・適正配置の基本方針の決定を目指す。

時期	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
内 容	10日 8日 中学生とのディスカッション 第1回検討委員会会議	第2回検討委員会会議	視察研修	第3回検討委員会会議	第4回検討委員会会議	第5回検討委員会会議	第6回検討委員会会議			矢吹町立小学校の適正規模・適正配置の基本方針の決定
	アンケート実施			説明会等の実施				基本方針案にかかるパブリックコメントの実施		

今年度の検討内容は「中間報告」としてとりまとめ、来年度以降に再配置の時期・方法・場所等の具体的な検討を行った結果を「基本方針」としてとりまとめます

今年度と来年度の検討内容・アウトプットの整理

